

箱根組ニュース

第366号 2023年 10月号

編集発行人 戸丸悟

箱根組は自然を大切にします！
各自保険に入って山に登りましょう！

西丹沢・畦ヶ丸は沢を渡るスリルと登りの手ごたえが半端ない！

下棚（滝）も大迫力だった！

9月17日（日）、小田急線新宿駅6時11分発の急行新松田行きに乗車。

新松田駅に7時29分着。バス停に向かうとすでに大行列。前から4人目あたりに先に着いていた西川さんが並んでいる。

というわけで、参加者は、宗像夫人、川名夫人、奥村、西川、神吉、戸丸の6名。無理かと思ったが、大きなバスで幸運にも6人とも座れた。

7時45分発の西丹沢自然教室行き（西丹沢ビジターセンターに名前が変わりバスの表示は西丹沢に変わっていた）に乗車。バスは市街地からどんどん丹沢の緑の中に向かってゆきます。こんなに山が深かったのかというくらい緑、緑、緑です。

8時56分頃、西丹沢ビジターセンターに到着。登山届を6名分提出し、各自ストレッチをする。

9時15分出発。先頭は神吉さん。ビジターセンター前の案内標識に従って進む。標識には下棚1.65キロ、畦ヶ

丸4.8キロとある。すぐに水色の欄干の吊り橋を渡る。上流側のオートキャンプ場は三連休ともあってテントがいっぱいだった。子供たちがこの時間から川に入って楽しんでいる様子がわかる。しっかりした吊り橋だがやはり少し揺れる。

道は針葉樹の林になるが、すぐに自然林になる。目の前に堰堤が見え、すごい勢いで水が流れ落ちている。堰堤の左端の急な階段を登って行くとまた川沿いの道になる。穏やかな流れだが、ここで最初の木道のような丸木橋を渡る。これからこのような橋をたくさん渡って右に左にと沢に沿って進んで行く。

中学生か高校生位の若い集団が何団体も我々を追い越してゆく。

溪流は美しくて驚いた。以前来た時にはこんなだったかと、すっかり忘れていた。丸木橋はたわんで揺れるものもあつて慎重にわたる。それにしてもこの橋がなかったらこの溪流は通過できない。管理している人に感謝だ。



一か所、どこを渡ったらいいかという場所があつて若者の集団も渡渉地点を探して考えているようだった。我々はその少し上のところで飛び石を利用して何とか渡った。増水していたら引き返す地点かもしれない。

10時4分、大きな堰堤を右側にある階段で超える。その後は大きな岩のある沢を右に左に橋で超えてゆく。

10時25分、1.3キロ地点。どうやら溪流の渡渉は終わって山道になる。山頂まではあと3.5キロだ。

10時31分、下棚沢出合。左に支流が分かれているが山の奥なのに割と広い河原だ。下棚(滝)を見ようとこの支流に沿って進む。5分ほどで想像をはるかに超える立派な滝に到着。高さも水量も迫力十分だ。滝壺少し手前で記念撮影。10時52分、元の分岐点に戻る。約

22605 円

収支
繰越

支出

News/HP 作成費 500 円
当日プリント代 200 円
現在高 21905 円

20分の道草だったが満足感はいっぱいだ。

11時8分、左本棚の分岐だが、本棚には寄らず真つすぐ進んでゆく。梯子を登って沢の右の山道を進む。そのあと

も梯子を下り、また沢を超えて梯子を登る。

12時40分、善六ノワ、スタートから3.1キロ、山頂まで1.7キロ地点だ。左右が落ち込んだ馬の背のようなどころを通過する。すぐに階段を降りると目の前には立ちはだかるような長い上りの階段が出てくる。しかし登ってみるとそれほどでもなくクリアー出来た。

1時25分、4.0キロ地点、山頂まであと800mだ。

1時50分、畦ヶ丸到着。手ごたえ十分だった。先頭の神吉さんお疲れさまでした。丁度いいテーブルがあるのでここで短めの遅い昼食。ビールで乾杯、持ち寄りのお惣菜、お湯を沸かしてコーヒも短時間でやり遂げる。

記念撮影をして、下山準備。短めと言っても正味約45分位は楽しんだ。

2時45分、下山開始。大滝橋バス停までは6.2キロだ。先頭は奥村さん。すぐに

10月15日(日) 江の島ハイキング

らくだコース 歩行約2時間位

小田急線片瀬江ノ島駅から弁天橋を渡って江の島をハイキングします。灯台付近で昼食です。昼食後は島の反対側の岩屋方面に降ります。遊覧船が出ていれば(天気によつては欠航)船で弁天橋に戻ります。欠航の場合は階段を上って逆コースで弁天橋に戻ります。

○持ち物 お弁当、飲料水、カップ、非常食、傘、雨具、着替え、タオル、筆記用具、救急薬品、(痛み止めスプレーなど)、健康保険証、ビニール袋、ティッシュペーパー、他

※申し込み締め切りは 10月13日(金)

集合 10月15日(日) 小田急線新宿駅
7時21分発 快速急行 藤沢行き
(前から3両目)

途中駅発

代々木上原 7:26 下北沢 7:29 登戸 7:38
新百合ヶ丘 7:44 町田 7:53 相模大野 7:56
中央林間 7:59

藤沢 8:18 (江ノ島線乗換) 8:24 発
片瀬江の島 8:31 着

交通費 新宿～江の島 片道649円
遊覧船べんてん丸 片道400円

●お申し込み・お問い合わせ

Tel・Fax/ 03-3521-6898 戸丸
戸丸携帯 090-4541-7066

携帯メール: satorutomaru@gmail.com

メール: tomarusatoru@hotmail.com

箱根組ホームページ

<https://tomarusatoru.wixsite.com/hakonegumi>

畦ヶ丸避難小屋、新しく泊まってみた
いような小屋だ。急な階段を下ってゆ
くと今度は上りになる。そして延々と下
りだ。木漏れ日は美しい。

3時過ぎ、少し平坦になり尾根道を楽
しむ。

3時41分、山頂から1.7キロ地点。
バス停まではあと4.5キロだ。道は左
側に90度曲がってゆく。

4時1分、道の左側にブナの根がさら
け出されて大きく張っているのに出会
う。白く美しいが生き残ろうと必死に根
を張っているようだ。この山はブナが多
くそれで水も豊かなのだと納得する。

4時半、沢沿いに出る。山頂から3キ
ロ地点、バス停まで3.2キロ。中間の
地点だ。一軒家避難小屋があるが中は暗
くてあまりお世話になりたくない。
少し進んで丸木橋で左側に渡る。

5時、階段が崩落していて、備え付け
のロープを利用して慎重に降りる。また
階段状の木道を登って行く。

5時半、急な道で沢に降りる。そのあ
とはまた橋で川を渡る。

5時40分、右側に大きな滝が現れる。
幅もあり落差はそれほどではないが大
迫力だ。多分これが大滝ではないかと思
う。滝壺も水がたつぷりだ。真夏なら飛
び込みたくなるだろう。



長い下りをみんな頑張っている。日没
が近く、ヘッドランプを出さか出さない
かのギリギリの時間になったが、何とか
出さずに済んだ。明かりが見えたので住
宅に出たかと思ったら林の中のキャン
プ地だった。明かりを点けて夕食の準備
中のような。林道に出て薄暗い中を進ん
で行くが道が広いので大丈夫だ。
バスの最終まで1時間ほどあるので
タクシー利用も考えて、歩きながら三社

ほど電話したがどれもだめだった。
3連休で忙しいのか、それとも運転手不
足なのか？

時間があるので、明るいバス停でお湯
を沸かしてコーヒータイム。皆さんは暗
がりりで着替えたりしていた。

7時9分のバスに無事乗ることがで
きた。バスが有ってよかった。

新松田から無事に帰京。大迫力の畦ヶ
丸を再認識した一日でした。

